

整理番号：1－4

提言題名：ワクチン接種証明書に反対する質問と要望

【提言の要旨】

各報道によると政府はワクチン接種証明書を活用していく方針の様ですが、これについて質問と要望があります。

質問：取手市としてのワクチン接種証明書に関する取り組みの現況と今後の方針

要望：未接種者への差別につながるワクチン接種証明書を導入しないこと

要望の理由：ワクチン接種証明書が政策として導入されれば、未接種者は政策的不利益を強いられ、周囲からの差別をうける可能性も高まります。例えば友人と食事に行く際にも、未接種者であることから、同じレストランで食事が摂れないという現象が生じます。人間関係の悩みから、また生活上の不便を解消する為、本意ではなくコロナワクチンを接種する人も出るでしょう。ワクチンを接種しても、接種後にコロナに罹患する可能性もあります。未接種者への差別を助長し、さらに接種者と未接種者との分断、社会の分断に繋がるこのワクチン接種証明書の導入に反対します。

(令和3年11月受付)

【回答の要旨】

市では市民を対象とした新型コロナワクチン接種を進めていて、現在は12歳以上の市民で新型コロナワクチンを2回接種された方の割合は85パーセントを超えているところです。

このような状況のなか、今後感染が再拡大した場合でも経済社会活動と両立を図るため、新型コロナワクチン接種証明等を示すことで、行動制限を緩和する「ワクチン・検査パッケージ」について国から要綱案が示されたところです。一方、この制度に関する明確な自治体での運用方針等はまだ示されておらず、今後どのように市が運用に関わるか未定となっております。市が行う運用方針等が決まった際には、広報誌やホームページ等で市民の皆様にお知らせを行ってまいります。

今後も市の衛生行政に何卒ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

(保健センター 令和3年10月回答)